



MYNET

Mar 27, 2025

定時株主総会

報告事項

第 19 期

事業報告

- ・2024年12月期 事業報告
- ・2024年12月期 トピックス
- ・2025年12月期 業績見通し

1

2024年12月期 事業報告

2024年度方針である増収増益を達成
営業利益は前年同期比+154%増の428百万円と急成長

単位:百万円	FY2023	FY2024	増減額	増減率
売上高	8,717	8,846	+128	+1.5%
営業利益	168	428	+259	+154.2%
経常利益	125	375	+249	+199.2%
最終利益	143	245	+102	+71.4%

通期業績予想に対する進捗

期末の各種施策効果により営業利益は開示値を超過
一部の資産については期末で特別損失を計上

単位:百万円	10/10 上方修正	FY2024	差異	差異率
売上高	9,600	8,846	△753	△7.9%
営業利益	360	428	+68	+19.0%
経常利益	335	375	+40	+12.0%
最終利益	290	245	△44	△15.3%

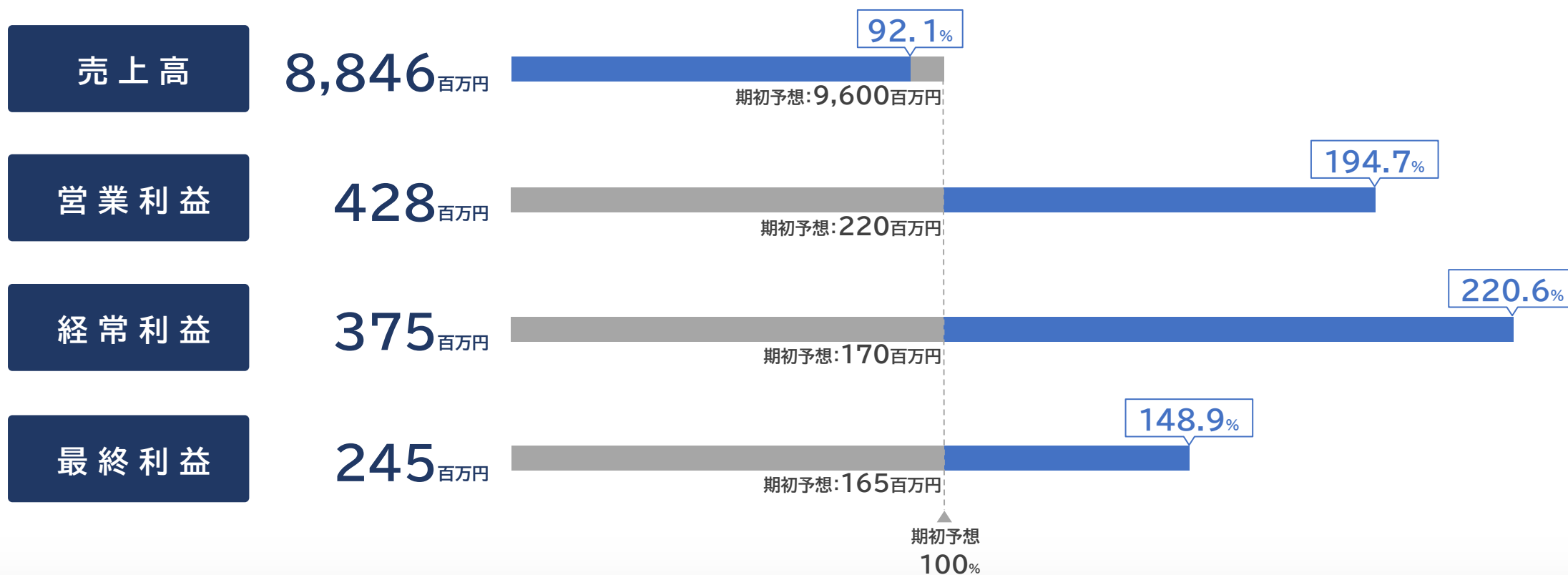
特別損失の計上について

売上再成長に向けて新規事業への拡大を進行する中で
資産を再精査しこのタイミングで整理

特別損失	理由	金額
ソフトウェア・のれん等	成長性の高い案件にリソースを集中するために 開発中プロジェクトを再整理	59百万円
投資有価証券	資本業務提携先との取り組みを再評価	59百万円

期初予想に対する進捗

売上高は期初予想値に対し未達となるも
既存事業が好調に推移したことにより段階利益は期初予想から大幅超過

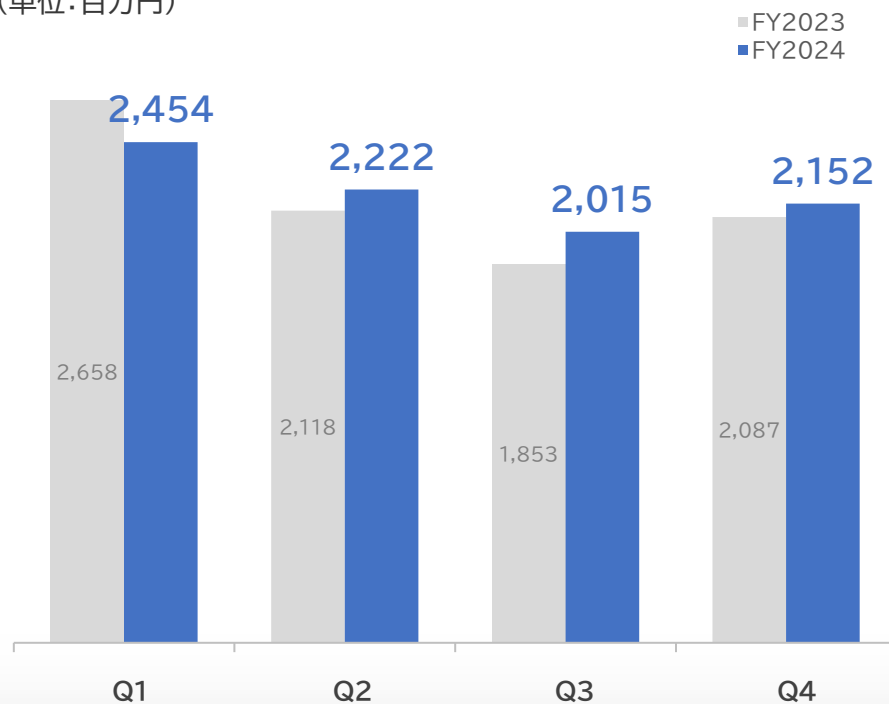


四半期別推移 | 売上高・営業利益

売上高は各四半期で安定的に20億円をキープ
営業利益は昨年度と比較し各四半期で安定的に創出

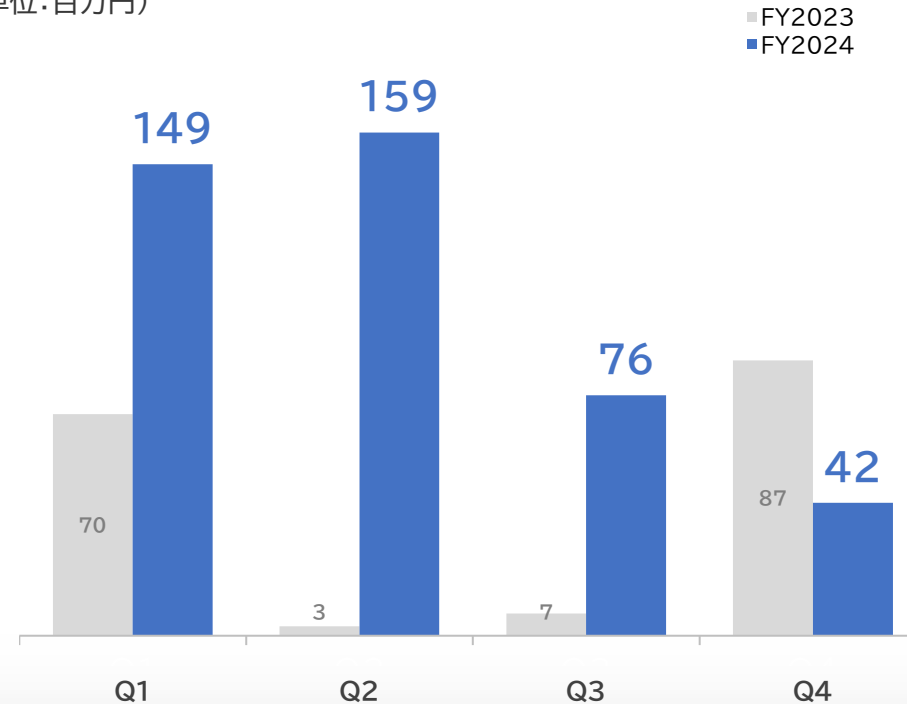
売上高

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)

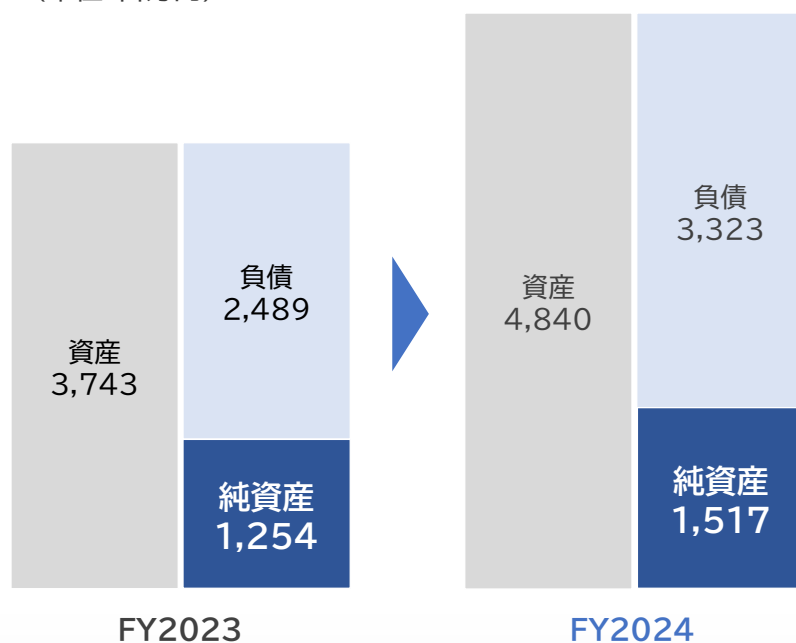


貸借対照表

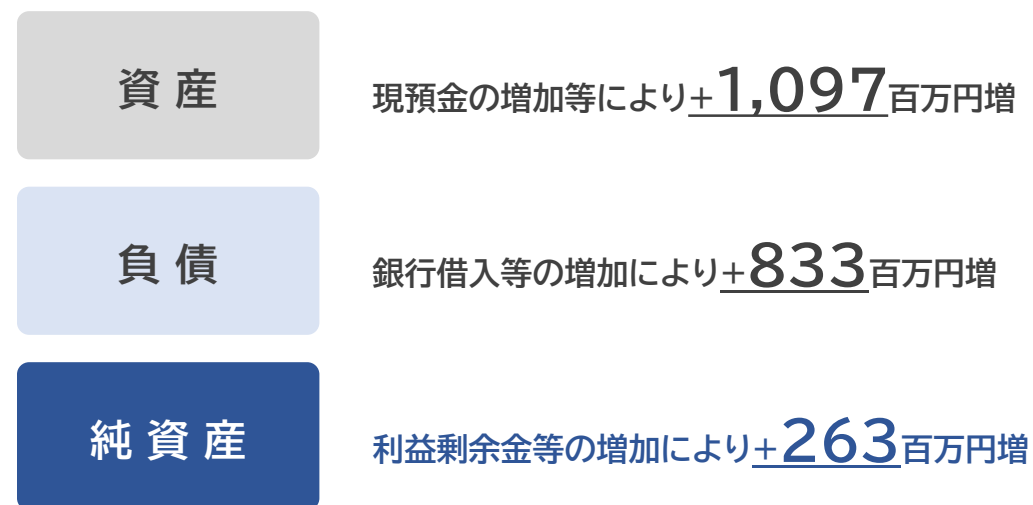
業績好調による銀行借入枠の拡大から財務安定性が向上
新規事業への投資を継続するも純資産+263百万円増と順調に成長

貸借対照表

(単位:百万円)



財政状態の概況



2

2024年12月期 トピックス

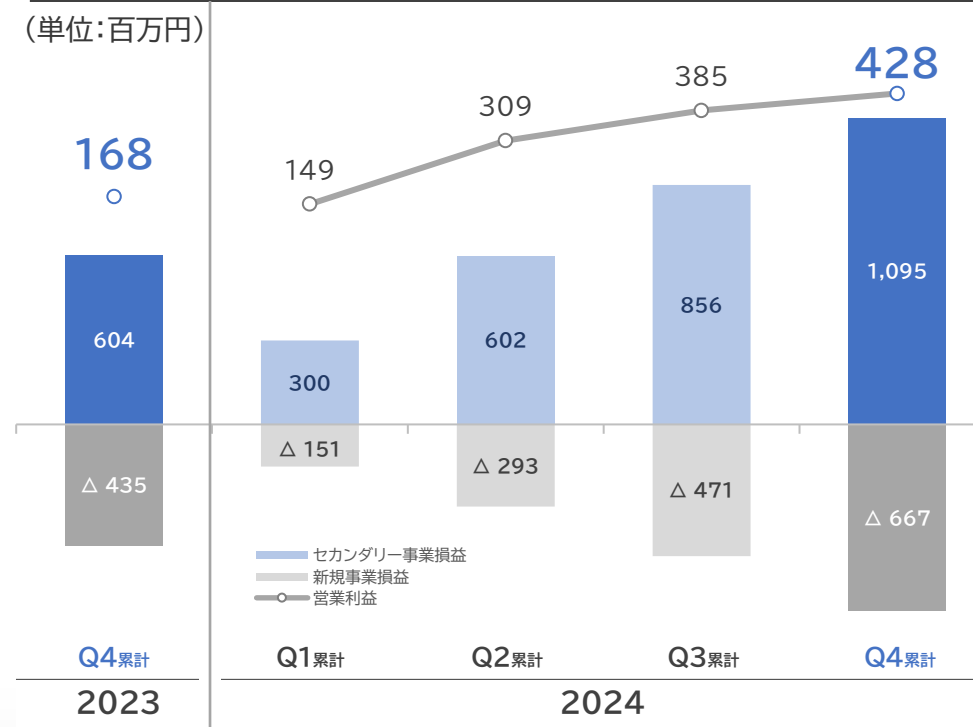
2024年度 全体方針と進捗

セカンダリー事業の収益は昨年度から大幅増加
事業収益の範囲内で売上再成長に向けた新規事業投資を継続実施

持続的成長に向けた事業戦略



各事業収益と営業利益



2024年度 事業別ハイライト

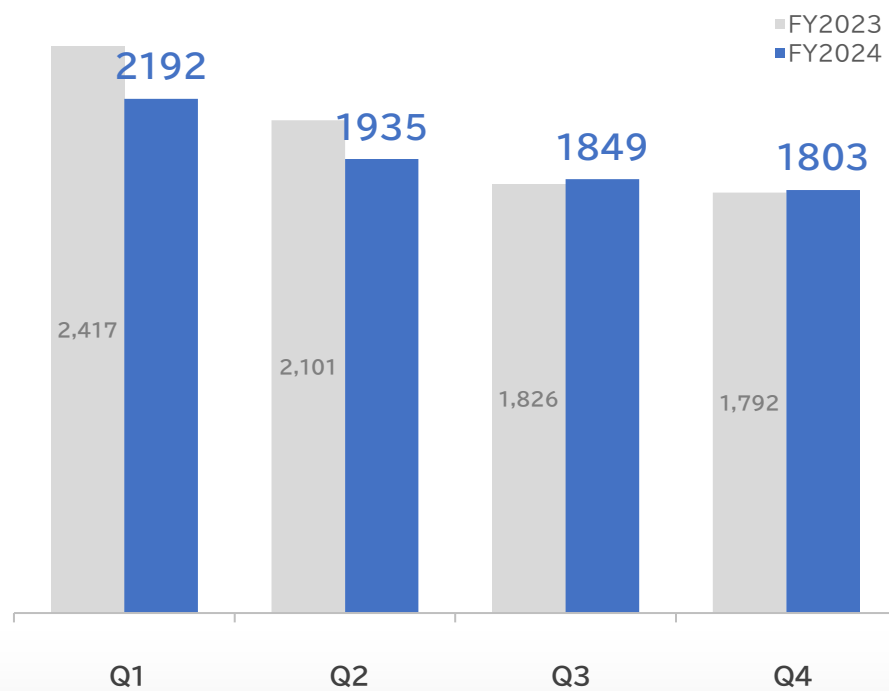
売上面では新規事業が+84%成長を実現
利益面においてはセカンダリー事業が+81%増となり連結業績を底上げ

単位:百万円	FY2023	FY2024	差異	差異率
売上高	8,717	8,846	+128	+1.5%
セカンダリー事業	8,138	7,780	△358	△4.4%
新規事業	579	1,066	+486	<u>+84.1%</u>
営業利益	168	428	+259	+154.2%
セカンダリー事業	604	1,095	+491	<u>+81.3%</u>
新規事業	△435	△667	△231	△53.1%

売上高は昨年末に獲得したタイトルの効果もあり下期で挽回
四半期別の営業利益は運営効率化により堅調に推移

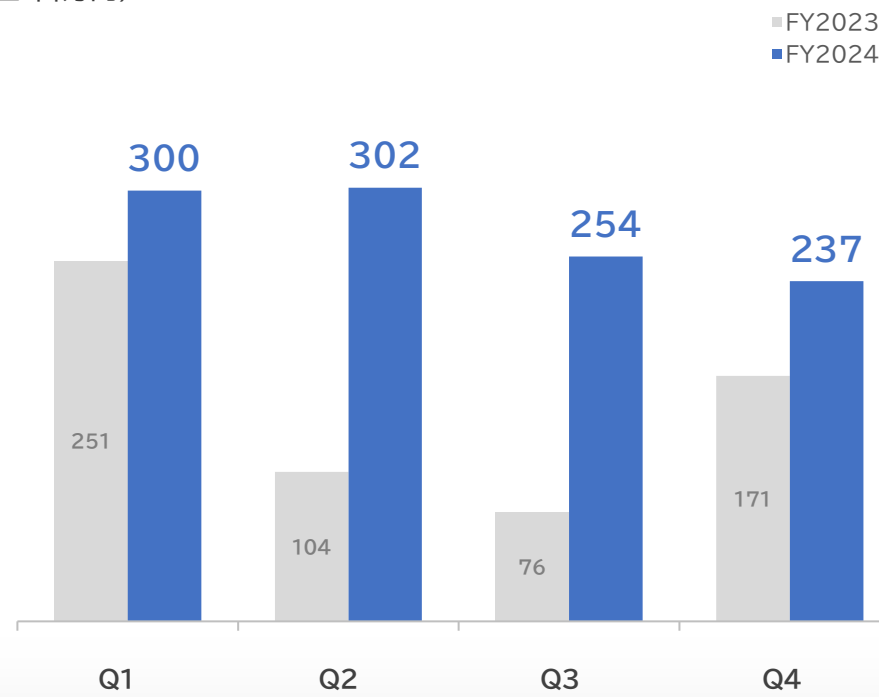
売上高

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)



既存運営は通期の社内目標値を達成

獲得面では案件の大型化が進行したことから一層のシナジーとリスクを勘案した審査を継続

既存運営

買取運営

✓ 営業利益の社内目標比 +17.9%増

運営受託

✓ 営業利益の社内目標比 +11.6%増

新規獲得を取り巻く事業環境

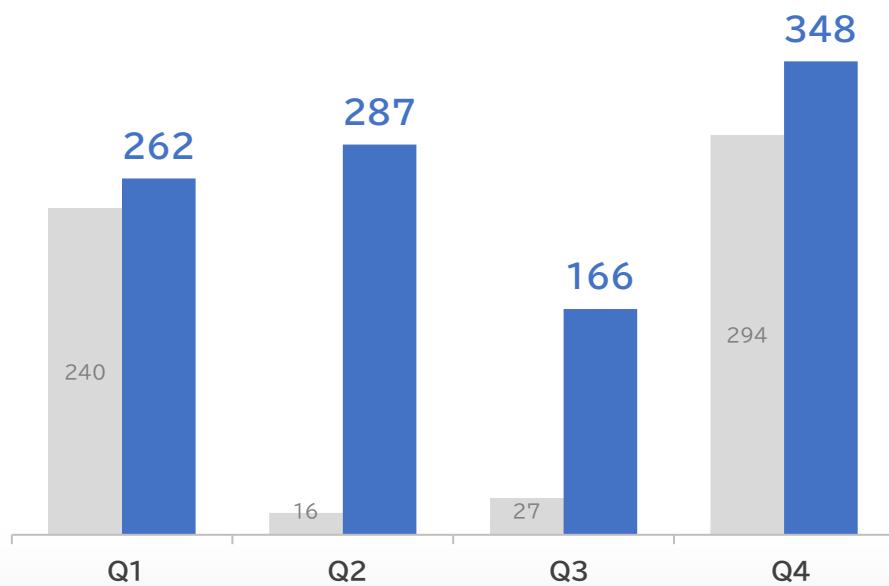


投資基準に合致したソーシングに注力

受託開発およびBtoBソリューション(異業種)にて新規の売上高を創出
2025年度の新プロダクトリリースに向けてスポーツDX領域への投資を実施

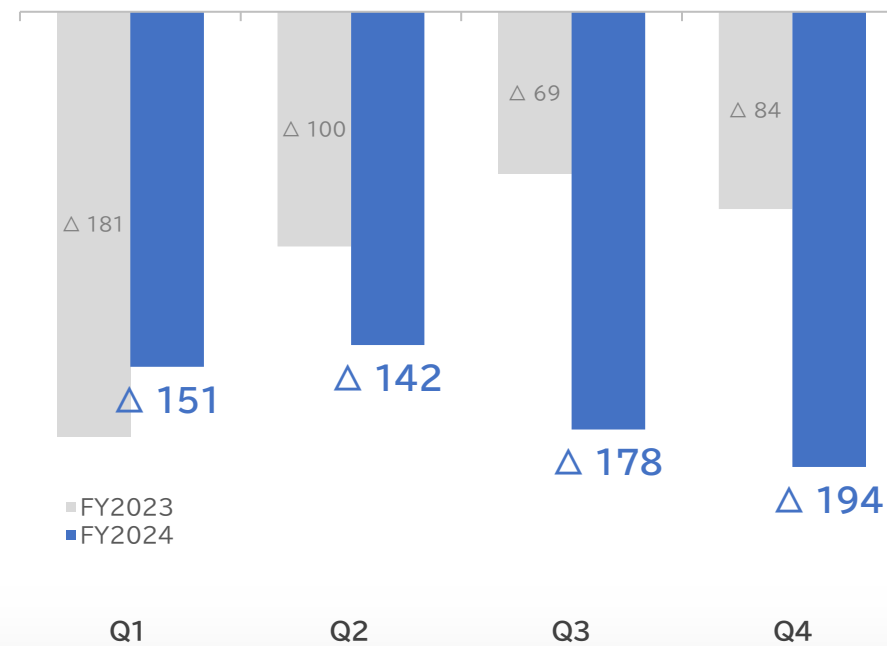
売上高

(単位:百万円)

■ FY2023
■ FY2024

営業利益

(単位:百万円)

■ FY2023
■ FY2024

売上再成長に向けた新規事業への取り組みは着実に前進
BtoBソリューション(異業種)は通期で黒字化

領域	評価	詳細
スポーツDX	△	・ 2025年の単月黒字化を目指し、新規プロダクトの開発を進行 ・ B.LEAGUE #LIVEにおいて過去最高ユーザー数を更新
初期開発	△	・ 受託開発案件を完遂。新規開発における新たな実績を獲得 ・ 自社パブリッシュ案件は方針変更に伴い改廃
BtoBソリューション (ゲーム)	×	・ 市況も影響しゲーム業界への人材ソリューションは未達に
BtoBソリューション (異業種)	○	・ 組織強化も進捗した事で早々に収益に貢献 ・ 開発力も加え、ソリューション提供能力も向上

3

2025年12月期 業績見通し

2025年12月期 通期業績予想

新規事業の成長と収益化を一段進め
事業ポートフォリオの組み替えを加速させる1年

単位:百万円	FY2024	FY2025	増減額	増減率
売上高	8,846	8,500	△346	△3.9%
営業利益	428	100	△328	△76.7%
経常利益	375	70	△305	△81.3%
最終利益	245	10	△235	△95.9%
配当予想	0	0	-	-

セカンダリーをゲーム事業の一部として内包する形で再定義
新規事業はスポーツDX領域における売上成長と単月黒字化を目指す

事業	領域	取り組み
ゲーム事業	セカンダリー	・ 既存運営は引き続き効率化されたタイトル運営に注力 ・ 投資基準に合った大型案件のソーシングと獲得
	新領域 (業界内領域拡大)	・ タイトル運営で培った運営力、企画・開発力の初期開発への活用 ・ 部分受託など多様なニーズへの対応を拡大
新規事業	スポーツDX	・ 新たなマネタイズを搭載したプロダクトのリリース ・ スポーツDX領域の単月黒字化
	BtoBソリューション (異業種)	・ 経営戦略に加え開発案件への領域拡大が進み総合的なコンサルティングの提供が可能に ・ 積極的な組織強化を継続する事で新規顧客開拓を加速

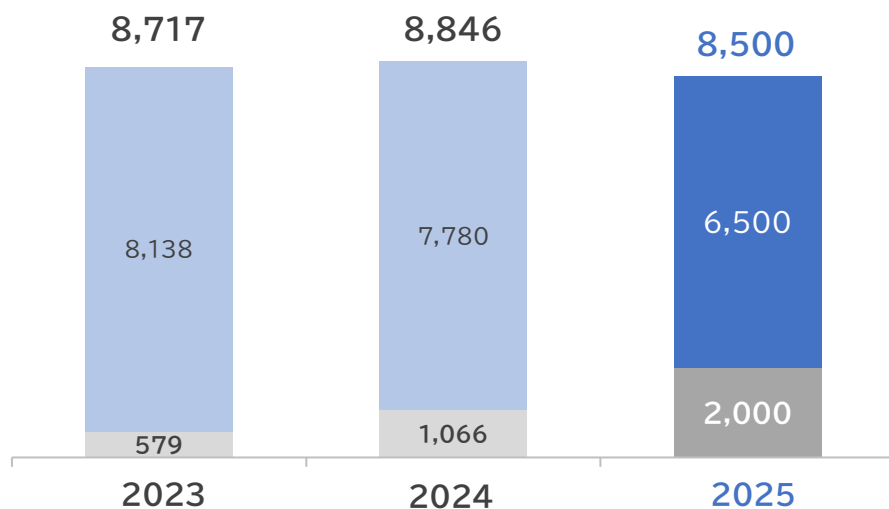
2025年度方針

ゲーム事業は強みである運営力、企画・開発力を軸にゲーム業界内における新領域へ積極拡大
新規事業はスポーツDXとBtoBソリューション(異業種)に集中して成長を加速

売上高

(単位:百万円)

■新規事業+ゲーム事業(新領域) ■ゲーム事業(セカンダリー)



全体方針

ゲーム事業

セカンダリー

・大規模案件主体の市況への適応

新領域

・新規開発、部分受託など順調に拡大している取り組みへの更なる注力

新規事業

スポーツDX

・単月黒字化と売上の更なる伸長

BtoB(異業種)

・積極投資による更なる成長の加速



MYNET